

私は、今回の台湾の開南大学での研修に参加して、主に三つのことを学んだと感じています。

まず一つめは、計画的に物事を進めることの重要さです。この研修の日程のなかには自由時間というものがあり、私たちのグループは、その時間を使って、さまざまな場所を観光しました。今振り返ると、私はこの自由時間をとても有意義に過ごせたと感じています。そしてそれは、同じグループの先輩たちと、台湾のチューターさんのおかげだと思っています。自由時間の旅行計画は、みんなで話し合いながらも、主に先輩方が立ててくださったのですが、行動に無駄がなく、何か問題が生じて、素早く変更するなどの機転を利かせ、結果的に滞りなく観光することができました。チューターさんは、言いたいことが通じないときに助けてくれたり、おすすめの観光地や食べ物を一生懸命調べてくれました。私は、計画の立てかたと自分の行動次第で、限られた時間でもいろいろなことができるとわかりました。

二つめは、人と交流することの大切さです。私は今回の研修を通して、台湾の人たちだけではなく、日本各地の大学に通う、さまざまな学年の人たちと交流することができました。私は今まで、先輩や他の地域の同学年の人と話すことがあまりなかったのですが、この研修では、授業やグループ活動などで話す機会がたくさんありました。私はこの研修で、勉強についてのことや、普段の生活についてのアドバイスをたくさんいただきました。また、お互いの住んでいる地域や、趣味の話などもしました。この経験から、多くの人と話すことで、自分にとって良い経験になると思いました。

三つめは、チャンスは逃さないほうがよいということです。この研修のなかにはさまざまなプログラムがあり、それは台湾でしかできないことだったり、めったに体験できないようなことでした。私は普段、チャンスがあったのに、恐れや躊躇いが原因で、機会を逃してしまうことがよくありました。なので今回は、「せっかく台湾に来たから、できることは何でも経験しよう」という気持ちでいました。私は、行ってみたい場所や食べてみたいものがあったら、グループの人たちに言うようにしました。その結果、後悔や心残りを感じるものが少なく、晴れやかな気持ちで研修を終えることができました。私はこの経験から、自分がやってみたいと思ったことは、機会が巡ってきたときに、迷ったり恐れたりせずにやってみようということを学びました。

私は、この開南大学の夏期研修での経験を通して、多くのことを学び得ることができたと思っています。この研修に参加できて本当に良かったです。

